

件 名	堺市総合計画「堺 21 世紀・未来デザイン」前期基本計画および「自由都市・堺 ルネサンス計画」のまとめについて
経 過 ・ 現 状 政 策 課 題	<経過・現状> 【経過・現状】 ○堺市総合計画「堺 21 世紀未来デザイン」(平成 13 年 4 月策定、計画期間：基本構想 平成 32 年度、基本計画 平成 22 年度まで) ・まちづくりの最も基本的な指針として、まちづくりをすすめていくための基本理念や目標を示す基本構想と基本構想を実現するための基本的施策の方策を示す前期基本計画で構成されている。 ○自由都市・堺ルネサンス計画(平成 18 年策定、計画期間：平成 21 年度まで) ・政令指定都市移行により拡充する権限や財源等を活用して、本市の長期指針である「未来デザイン」の実現を促進することに加えて、政令指定都市として一層の都市発展や市民サービスの充実を図るために策定し、「選択と集中」に基づく施策の重点化の方向を示している。 【課題】 ・「堺 21 世紀未来デザイン」前期基本計画が今年度に計画最終年度を迎え、自由都市・堺ルネサンス計画が平成 21 年度で計画期間を終えたことから、これまで進めてきた施策・事業についての分析を行い、今後のまちづくりに向けた課題を抽出しなければならない。
対 応 方 針 今 後 の 取 組 (案)	【策定の趣旨】 ・これまで取り組んできた施策・事業の内容や成果、今後の課題を広く市民にお知らせし、本市の現状や課題についての理解を深めていただくことで、今後、市民協働のまちづくりを円滑に進めるとともに、本市の施策・事業の推進に活用することを目的とする。 【分析の手順】 ・これまで進めてきた取組内容やその成果について「施策の必要性の有無」や「事業推進手法の妥当性」などの視点から評価を行い、その評価に基づいて「今後の課題」を抽出した。 (評価軸の例) ・施策の妥当性、必要性が失われていないか ・施策を推進する手法は妥当か ・市民のニーズに沿ったものか ・市民、関係者の理解は得られているか など 【事業の進捗結果と事業費】 ○「自由都市・堺ルネサンス計画」に位置づけられた事業(全 1 6 0 項目)の進捗結果(詳細は報告書 P 4 1 を参照) ・完了した事業または、計画当初の目的を達成した事業数 4 3 事業(2 7 %) ・推進中の事業数 1 0 0 事業(6 3 %) ・内容・手法等の見直しを行った事業数 1 5 事業(9 %) ・未着手の事業 2 事業(1 %)

	○計画に位置づけた事業の平成１８年度から平成２１年度における事業費および一般財源 事業費 約１，０９６億円 一般財源 約 ３６２億円 各決算額 【マスタープランへの反映】 ・両計画のまとめで抽出された「今後の課題」については、昨年の１２月に公表した後期基本計画である「堺市マスタープラン基本計画（案）」の第３章将来推計人口や第６章の「現状と課題」、「施策展開の方向性」などに反映している。 【抽出された課題解決に向けた取組】 ・堺市マスタープランに位置づけた事業実施により、継続事業についての取組を強化するとともに、残された課題については解決に向けて取り組んでいく。 【議会への報告】 ・「自由都市・堺ルネサンス計画」のまとめについては、「堺市議会の議決すべき事件等に関する条例」第４条の趣旨を踏まえて、議会報告を行う。 【今後のスケジュール】 ２月 議会報告
効果の想定	本市の現状や課題の市民への周知および市民協働のまちづくりの円滑化、今後の市政運営への活用
関係局との政策連携	全局